



地域政策学部 地域イノベーション学科

2026年4月新設予定!

福井まちなかキャンパス
(AOSSA内 1・3・5F)

※2027年開設

キャンパスは
福井駅から徒歩1分!

福井駅

「地域イノベーション」とは?

地域の資源を活用し、新しいアイデアや取り組みで新しい価値を創造し、地域社会に大きな変化・革新をもたらすことをいいます。

地域政策学部では、どんなことを学びますか?

地域政策学部は、地域産業の高度化やグローバル化、新たな産業や企業の創出、持続可能な地域社会の構築に貢献する人材を養成します。そのために、経済や経営に関する理論、地域社会に向けた施策、日本や世界の諸地域の実態、地域社会を分析するためのフィールドワークの方法やデータの活用方法など、さまざまな知識を実践的に学びます。

地域政策学部では、どのような授業を行いますか?

特に重視しているのは、フィールドワークや実践英語、データ分析など、実践的に授業を行う点です。講義や文献、人々の声など、さまざまな情報を効果的に活用して地域の課題解決について実践的に学べるような授業を提供します。

どのような進路が考えられますか?

民間企業や自治体など、さまざまな進路が考えられます。例えば、地域の観光や文化の情報発信や、農林水産業や製造業等の地域産業の経営企画や海外営業、産学官金の連携を担う仕事、自治体やシンクタンク等で地域政策やまちづくりなどに関わる仕事などが挙げられます。

地域の課題解決に取り組む人材を育成します

2024年3月16日に北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業しました。福井市中心部では、再開発が進み、新たな空間が次々と登場しています。地域政策学部は、福井駅前の好立地を活かし、学びの場所を福井のまちなかはもちろん、県内外にひろげていく予定です。

地域政策学部長(予定者)

松原 宏 教授

福井県は農林水産業が盛ん、製造業も多様で、実はイノベーションに熱心に取り組むひとや企業が多い全国有数の県です。この地域で活躍する企業や自治体の方々による講義やワークショップ、農家訪問や工場見学などのフィールドワークを充実させ、地域イノベーションを体系的に学べる全国初の学科を設置します。地域の課題解決の担い手となる皆様を歓迎いたします。

学部・学科名称	地域政策学部地域イノベーション学科
開設時期	2026年(令和8年)4月
開設予定場所	1年次 (永平寺キャンパス) 2年次~(福井まちなかキャンパス)
入学定員	70名(収容定員280名)
取得学位	学士(地域政策学)





01

地域におけるフィールド演習など実践教育を重視

県内各地域をはじめ、国内外で実際の地域課題をテーマとしたフィールドワークを重視

02

データサイエンスを足場にデジタル人材を養成

GIS(地理情報システム)や空間分析など、ビッグデータや情報システム技術を活用した演習を実施

03

コーオプ実習の実施により学生と県内企業とのつながりを強化

県内企業や自治体と連携し、企業等の業務に一定期間参加。現実の課題解決に取り組むことで単位を認定

04

国内留学制度で福井だけでなく他の地域についても長期的な学びが可能

単位互換の協定を締結した国内の大学において、一定期間滞在し学修することで単位を認定

05

福井駅から徒歩1分の福井まちなかキャンパスが拠点

2年次から、フィールドワークが多い本学科の学びの拠点「福井まちなかキャンパス」で学習

地域政策学部

カリキュラムの特色

地域イノベーションを体系的に学ぶカリキュラム

基礎知識から応用・発展へと、より高度な知識を段階的に習得できるようにカリキュラムを構成

コーオプ実習

企業や団体から提示された課題の解決を目指し、その実務経験を積むことで、「考えて行動する姿勢」を身に付けます。

国内留学

首都圏と地方圏にある大学と連携協定を結び、単位互換可能な国内留学により、他の地域について学びを深めることができます。



1年	2年	3年	4年
基礎知識の習得 1年次では、地域イノベーションを実践するための基礎的な知識を学びます	専門性を深める 2年次以降では、想定する進路により3つのユニットに分かれ、学びを深めます	より実践的な知識の習得 3年次では2年次より実践的、専門的な科目を用意します	地域イノベーションの実践 4年次では、3年次までに学んだ知識を活用して、より高度な地域の課題解決に取り組みます

配当科目

【学科共通科目】
 地域イノベーション入門、初年次ゼミ、経済学の基礎、経済統計入門、経営学入門 等

【一般教育科目】
 英語Ⅰ、ICTリテラシー、キャリア形成論、プログラミング基礎、歴史学、心理学、ジェンダー論、数学基礎、物理学 等

ピックアップ： 地域イノベーション入門

地域政策学部の各教員が取り組んでいる研究内容を開き、今後どのようなことを学んでいくか理解することが目的です。特に、福井の自然、歴史、文化、産業など、地域イノベーションを学ぶ上での基礎的な知識を習得します。

地域産業ユニット

地域産業の振興・発展に必要な専門教育

地域における産業の実態を学び、地域の特性を活かした産業の振興・発展に必要な理論と政策を学修

配当科目

地域産業論、産業立地論、地域マーケティング論、農村漁村活性化論、グローバル企業論 等

ピックアップ： 地域産業論

地域産業の動向や、産地内での分業の実態、地域社会との関係、制度、地域産業政策などの特徴を学びます。

配当科目

地域産業活性化演習、産業集積論、技術経営、経営戦略論、農産物貿易論、スタートアップ企業論、管理会計論 等

ピックアップ： 地域産業活性化演習

学生が県内の農林水産業、製造業などの業界関係者を交えて議論を行い、地域産業政策のあり方を学びます。

地域創造ユニット

起業家育成など新産業創出に必要な専門教育

地域の資源(歴史、文化、自然)の価値を理解し、活用した新しいビジネスの創出に必要な理論と政策を学修

配当科目

地域マネジメント論、アーツマネジメント論、文化人類学、観光産業論、公益事業論、地域共創 等

ピックアップ： 地域マネジメント論

地域の持続可能な発展に向けて有用な視点や、発展のための戦略の構築方法といった実務的なスキルを学びます。

配当科目

地域共創演習、オープンイノベーション論、クリエイティブシティ論、地域文化論、地域交通論、地域金融論 等

ピックアップ： 地域共創演習

学生が福井県内の企業関係者と議論し、新たな産業や企業の創出に向けた政策提案について学びます。

地域づくりユニット

持続可能な地域社会の発展に必要な専門教育

地域社会の現状と課題を理解し、公共政策・まちづくりを企画・立案するために必要な理論と政策を学修

配当科目

地域づくり論、環境デザイン論、ウェルビーイング論、自治体政策論、地域政策 等

ピックアップ： 地域づくり論

日本国内の代表的な地域づくりの事例から、地域資源活用の特徴や現場での現状分析の手法などを学びます。

配当科目

地域政策立案演習、ローカルキャリア論、知財管理論、地域社会論、まちづくり論、地方財政論、環境経済学 等

ピックアップ： 地域政策立案演習

地域が抱えるさまざまな課題に対する地域政策のあり方について、福井県内の自治体関係者を交えて学びます。

学部共通科目

各ユニットと関連する専門知識の習得

フィールドワークをはじめ地域データ分析の基本的な方法や実践英語、さらにさまざまな分野の基礎理論やその応用を学ぶ科目も用意

配当科目

地域フィールド演習Ⅰ、地域データ分析Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ、経済地理学、経営学基礎、地域イノベーション特論Ⅰ 等

ピックアップ： 地域フィールド演習Ⅰ

調査テーマを設定し、福井県内の市町で現地調査を実施することで実践的に地域調査法を学びます。

配当科目

地域フィールド演習Ⅱ(県外地域)、地域データ分析Ⅲ、実践英語Ⅲ、海外地域研究Ⅳ、コーオプ実習 等

ピックアップ： 地域フィールド演習Ⅲ

海外の特定の地域を題材に、現地調査や調査報告書の作成を通じて、その地域や調査法について学びます。

ピックアップ： 演習Ⅳ

卒業研究について、より詳細な現地調査・分析結果と卒業研究の概要を発表し、教員から指導を受けます。

※地域政策学部(仮称)の学びのイメージです。

想定される進路

■製造・流通・金融・情報通信関連の総務・企画・営業部門
 地域産業のイノベーションをマネジメントする仕事
 地域の観光や文化などの情報発信に関わる仕事
 農林水産業や製造業等の地域産業の経営企画や海外営業に関わる仕事

■地方自治体、コンサルタント、NPO法人
 地域政策やまちづくりに関わる仕事
 地域の持続的発展を目指す自治体、経済団体やNPO法人などの仕事
 産学官金の連携を担う仕事
 国内各地や海外との地域間の連携を促進する仕事

■起業、事業承継
 クリエイティブ産業等の新しい産業を創出するスタートアップ企業の経営などの仕事
 地域の産業や会社の継続を支援する仕事

取得可能な資格

所定の単位修得(選択制)により、下記の資格が取得できます。

- 地域調査士
- GIS学術士
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)